



皆野町

洪水ハザードマップ

— 保存版 —



目次

町長のあいさつ・洪水のメカニズム	P 1
水害に備えた心構え	P 2
避難情報に関する事項	P 3
自主防災組織について	P 5

町長のあいさつ

近年各地で多発している大雨や土砂災害等の自然災害に備え、皆野町では住民を対象とした避難訓練や、職員を対象とした避難所開設訓練の実施に加え、各行政区の協力のもと、「地域避難所」の整備及びそれに付随する備蓄物資の配備等、防災対策の推進に積極的に取り組んでいます。

このたび、埼玉県が作成し、令和2年5月に公表された「水害リスク情報図」を基に、過去の皆野町の浸水災害のデータや、避難に関する各種知識等についてまとめた「洪水ハザードマップ」を作成いたしました。この「洪水ハザードマップ」は、平成21年2月に作成した「地震ハザードマップ」及び平成28年7月に作成した「土砂災害ハザードマップ」それぞれのマップとあわせて身近な場所へ保管し家庭や職場、地域においていざという時の避難行動時に活用してください。「自らの命は自らが守る」を基本とし避難行動については、あらかじめ決めておくことが重要です。また、非常時の持出し品なども早めに準備をしておきましょう。

今後も、町民の皆さんが安心して暮らせるように、災害に強いまちづくりに積極的に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



令和3年6月 皆野町長 石木戸 道也

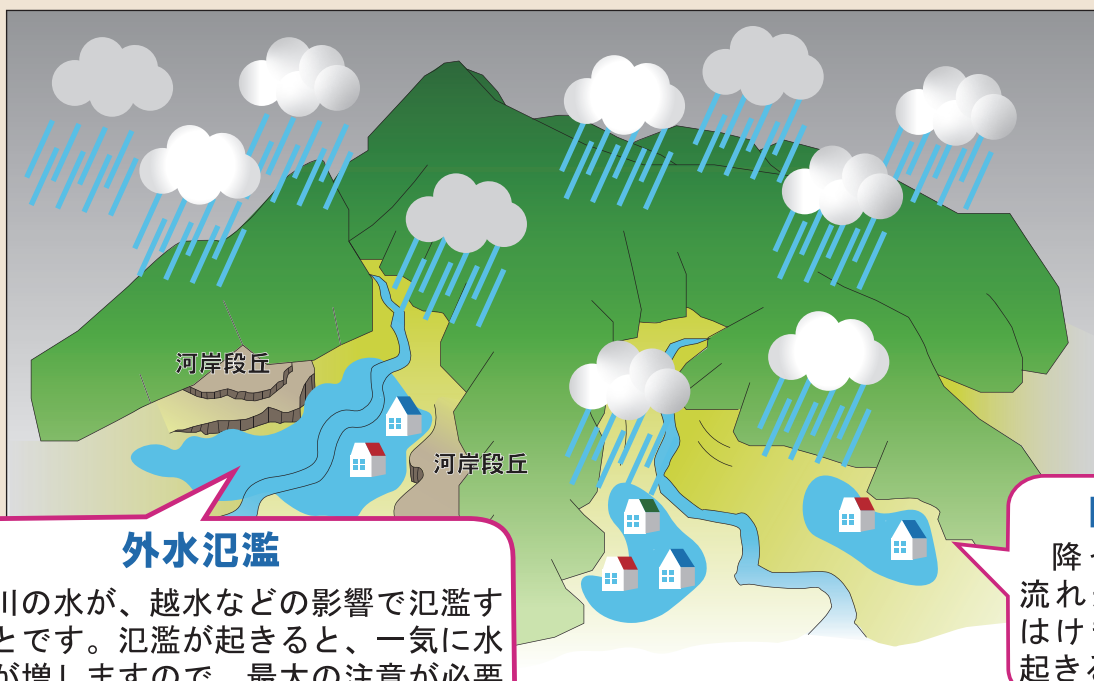
洪水のメカニズム

洪水の種類について

大雨などにより、河川の流量が著しく増加して、氾濫することを「洪水」と呼びます。また、洪水による氾濫や街中などで、大雨の際に、排水能力が追いつかず、住宅や田畑が水につかることを、「浸水」と呼びます。



令和元年東日本台風
親鼻橋上流（10月12日：午後）



外水氾濫

河川の水が、越水などの影響で氾濫することです。氾濫が起きると、一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要です。

内水氾濫

降った雨や周りから流れ込んできた水が、はけきれず、溜まって起きる、氾濫です。

河岸段丘：川が堆積と浸食を繰り返すことで形成されます。

注意が必要な場所

ため池

豪雨や地震のときは、ため池が決壊する可能性があります。上流域からの土石流や流木などの流入の発生にも注意が必要です。

水害被害に備えよう

事前に、災害に備えた備品の準備や家の周りの環境整備など、必要な対策を行いましょう。

避難する際に携行するもの



避難に必要な物を準備し、特に常備薬等、無くてはならないものは注意しましょう。

被害を抑えるための自衛策



家の周りを点検や整備し、家にある物を使って水の侵入を防ぐことが大切です。

地域での助け合い活動



なるべく2人以上で避難するようにし、配慮を必要とする方への早期避難を促しましょう。

避難経路の確認



避難所等までの経路は、あらかじめ決めて、安全に通行できるか確認しましょう。

正確な情報収集と避難



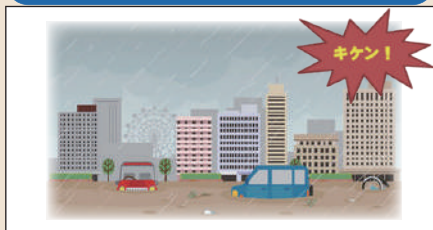
気象情報、災害情報、避難情報に注意して早めの避難をしましょう。

動きやすい服装で避難



持ち物はリュックで、手は自由に、長靴よりもひも付き運動靴で避難しましょう。

車での避難に内在する危険性



浸水している場所では動けなくなり、事故の発生や緊急車両の妨げになるので、避難時の車での移動は危険です。

氾濫水は勢いが強く濁っている



氾濫水は、勢いが強く、歩くのが困難です。やむを得ず水の中を移動する場合は棒で足元を確認しましょう。

避難が遅れた時の対応



浸水が始まった後に移動することは大変危険です。自宅の2階や近隣の安全な建物に避難しましょう。

非常時持ち出しチェックリスト

- 非常食
- 飲料水
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- ヘルメット・防災ずきん
- 現金
- 健康保険証
- 救急医薬品
- 常備薬・お薬手帳

- 上着・下着
- タオル
- ティッシュ (ウエット・ドライ)
- ビニール袋
- 軍手・スリッパ
- シート
- 携帯電話の充電器
- マスク・体温計・消毒液など

赤ちゃんがいる家庭

- おむつ・おしりふき
- 使い捨て哺乳瓶・水筒
- 粉ミルク・液体ミルク
- 母子手帳
- 抱っこひも

高齢者がいる家庭

- 大人用おむつ・パット
- おかゆなど食べやすい非常食
- 使用している老眼鏡・補聴器など

避難情報に関する事項

自分の住んでいる場所を知り、避難につなげよう

自分の住んでいる場所を知り、避難情報をもとに安全に避難しましょう。

事前の準備・避難想定



住んでいる場所について	避難する場所について
近くにある河川 () 川	避難する場所 ()
浸水する深さ () m	避難するまでにかかる時間 () 分
河川までの距離 () m	避難する時に通る危険な場所 ()
過去の水害状況 ()	避難するタイミング ()
土砂災害警戒区域内にあるか はい いいえ	* 外へ出るのが危険な時 ↓ 家の中の安全な場所で 「屋内安全確保」をしよう
家屋倒壊等氾濫区域内にあるか はい いいえ	

ハザードマップを確認して、おおよその距離や浸水深など書き込んでみよう！

- ・夜間や激しい降雨
- ・浸水深がひざ上
- ・水の流れが速いとき

- ・上の階
- ・がけから離れた部屋

雨の強さ

雨が強くなると、災害の危険性が高まり避難時に危険が伴う可能性があります。普段から雨の様子に注意し、危険と判断したら安全な場所に早期避難しましょう。

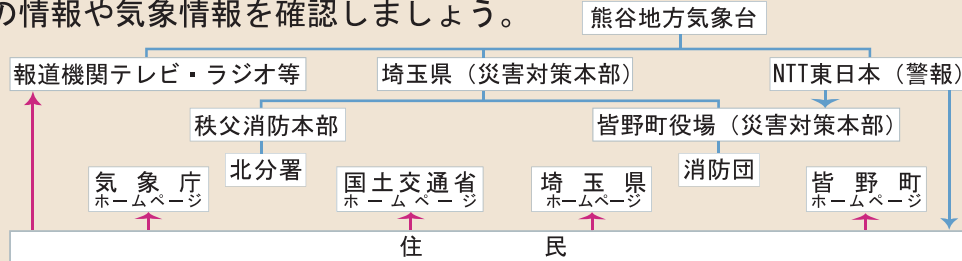
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 (mm)	10mm以上 20mm未満	20mm以上 30mm未満	30mm以上 50mm未満	50mm以上 80mm未満	80mm以上
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面から跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	

1時間雨量が50mmを超えると足元が浸水し始めます。道路が浸水する前に避難しよう！

情報伝達経路

警戒レベルとは、自治体や気象庁などから発表される情報を、住民が取るべき行動を分かりやすく5段階に明記したものです。

洪水氾濫が予想される場合は、防災行政無線やテレビ、ラジオ等で避難の情報や気象情報を確認しましょう。



情報収集・避難の準備

安全に避難する

警戒レベル	1	2	3	4	5
防災気象情報	早期注意情報	洪水注意報 氾濫注意情報 大雨注意報	洪水警報 氾濫警戒情報 大雨警報	氾濫危険情報 記録的短時間大雨情報 土砂災害警戒情報	氾濫発生情報 大雨特別警報 (浸水害) (土砂災害)
市町村の対応			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
住民の行動	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険直ちに安全確保!

警戒レベル4までに必ず避難!

水害時の情報の集め方

テレビで 情報を得る	テレビのdボタン 災害情報が確認できます ①リモコンのdボタンを押す ②「防災・生活情報」を選択する	電話で 情報を得る	音声確認サービス 防災行政無線の内容を電話で確認できます 0800-800-6680 (通話無料)
インターネットで 情報を得る	気象庁 (防災情報) [QRコード]	内閣府 (防災情報) [QRコード]	ちちぶ安心・安全メール 避難所などの情報を配信しています。 QRコードを読み取ることでできない方は、下記メールアドレス宛てに空メールを送信していただき、事前登録してください。 【メールアドレス】 t-chichibu@sg-m.jp
	国土交通省 荒川上流河川事務所 [QRコード]	埼玉県 (彩の国の安心安全) [QRコード]	
		国土交通省 (川の防災情報) [QRコード]	
			皆野町 (防災・防犯) [QRコード]

自主防災組織について

地域で助け合いましょう

大規模災害の時は、すぐに消防や警察などの援護が得られない可能性があります。災害による被害を最小限に抑えるには、住民自身が自発的に協力した防災活動、救出救護が重要になります。そのため組織が「自主防災組織」です。

自主防災組織

皆野町は行政区を単位として結成されています。大規模災害の時は、電話が不通になったり、道路交通網・ガス・電気・水道設備が破損されるなどで、消防機関の活動が制限される可能性があります。そのような事態に備え、日頃から防災知識の普及、地域の安全確認、救出救護、安否確認、炊き出しなど地域で協力して行いましょう。

要配慮者への協力

高齢者や障がい者、外国人など災害発生時に、避難するのに支援が必要な方がいます。安全に避難できるように、避難の声掛けや避難誘導など、地域住民で協力して行いましょう。

特に配慮が必要な方のために、一般の避難所とは別に「福祉避難所」があります。

避難所生活での留意点

避難所では、限られた空間の中での集団生活になります。ルールを守り、地域住民が主体的に避難所運営に関わり、良好な環境を保ちましょう。

生活ルールを守ろう

役割分担して運営に参加しよう

ベッドやプライバシー確保に努めよう

健康や衛生の管理に気を付けよう

犯罪に気を付けよう



感染症対策

感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。避難所などで集団感染しないよう、運営スタッフや保健所に相談したり、一人一人が感染対策をすることが大切です。

感染症が収束しない中でも、災害時に危険な場所にいる人は避難することが原則です。

5つのポイント

- 安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はありません。(在宅避難)
- 安全な親戚・知人宅に避難することも考えましょう。
- マスク・消毒液・体温計は、出来るだけ自ら携行してください。
- 指定避難所などの情報は皆野町のホームページ等で確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は危険です。やむを得ず、車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

災害時の避難場所・連絡方法

指定避難場所・避難所	所在地	電話番号	指定避難場所・避難所	所在地	電話番号
公民館	皆野2228-1	62-0454	転作研修センター	金崎111-1	—
柔剣道場	皆野2125	—	皆野幼稚園	国神639	62-1333
皆野小学校	皆野1346	62-0053	金沢生活改善センター	金沢259-1	—
皆野中学校	皆野2244-2	62-0432	わく・ワクセンター	下日野沢3990	—
老人福祉センター	大淵103-1	62-4625	水と緑のふれあい館	下日野沢3993-3	62-5227
国神小学校	大淵70-1	62-0579	三沢小学校	三沢1606	65-0123
自然休養村管理所	大淵280	—	三沢農業集落センター	三沢1588-1	—
皆野高等学校体育館	大淵19-1	62-2076			
一時避難場所	所在地	電話番号	一時避難場所	所在地	電話番号
町民運動公園	皆野836-2	—	皆野スポーツ公園	下田野1119-1	—
地域避難所	所在地	行政区	地域避難所	所在地	行政区
戦場公会堂	皆野2905-1	戦場・土京区	国神区公会堂	国神865-6	国神区
親鼻区第二公会堂	皆野2512-5	親鼻区	第九区集会所	大淵534-1	大淵区
皆野駒形区公会堂	皆野2053-1	駒形区	野巻椋神社社務所	野巻363	野巻区
上の台区公会堂	皆野1916-3	上の台区	下金沢公会堂	金沢1095-2	元金沢区
根岸区公会堂	皆野1650	根岸区	金沢生活改善センター	金沢259-1	出牛区
腰区公会堂	皆野1495	腰区	【町指定避難所】		
上原区民会館	皆野826-1	上原区	谷津集会所	金沢3068-1	金沢谷津区
上大浜区公会堂	皆野89-1	上大浜区	日野集会所	下日野沢1215-1	日野沢下区
中大浜区公会堂	皆野257-1	中大浜区	沢辺公会堂	下日野沢2699-3	日野沢中区
下大浜区公会堂	皆野436-1	下大浜区	門平公会堂	上日野沢1720	日野沢上区
原区公会堂	皆野887-1	原区	上三沢コミュニティセンター	三沢2845-1	上三沢区
下原区公会堂	皆野1305-2	下原区	三沢農業集落センター	三沢1588-1	みずほ区
下田野区公会堂	下田野1078-2	下田野区	【町指定避難所】		
金崎地区公会堂（転作研修センター）	金崎111-1	金崎区	下三沢集落センター	三沢670-1	下三沢区
【町指定避難所】					

緊急連絡先							
警察	秩父警察署	秩父市上宮地町 29-2	24-0110	水道	秩父広域市町村圏組合水道局 皆野・長瀬事務所	皆野 283	62-0554
	皆野交番	皆野 1798-5	62-0033		電気	東京電力(株) 埼玉カスタマーセンター	—
	国神駐在所	国神 652-4	62-4017	緊急指定医療機関		埼玉医療生活協同組合 皆野病院	皆野 2031-1
消防	秩父消防本部	秩父市下宮地町 10-25	21-0119				
	秩父消防署北分署	皆野 2885-2	62-7119				

災害用伝言ダイヤル 171

伝言の録音方法

171

にダイヤル

ガイダンスが流れます

伝言の再生方法

自宅の電話番号を市外局番からダイヤルし、伝言を入れてください

被災地の電話番号を市外局番からダイヤルし、伝言を聞いてください

わが家の防災メモ

避難場所		家族の集場所	
名前	電話番号	住所	メモ